

市立病院の耐震化について

質問 市立病院の本館は、昭和42年に建築され41年が経過し、また、第3病棟は、昭和37年に建築され46年が経過している。

平成21年度の施政方針では、市立病院の第3病棟の新築を検討し、本館は第3病棟の耐震対策を受けてから耐震補強工事を実施していく考えであると述べている。

て、今後、新築及び耐震補強工事をどのように実施していくのか。

答弁：市立病院事務局長

第3病棟の新築の場合の事業費については、今後、実施設計等を行う必要がありますが、一般病院の標準的な建築単価での試算によると、新築に伴う建設費、工事期間中の仮設病棟の建設費及び現在の

坂出市観光協会問題について

質問 坂出市観光協会の問題に関し、本市職員の懲戒処分に係る監督責任等を明らかにするためとして、今議会に、市長と副市長の3月分の給料について、それぞれ100分の5を減額する議案が提出されている。

しかし、市長は観光協会の会長である一方、副市長は一時期に環境経済部長を兼務しただけであり、根本的にその比重は違う。

また、商工観光課長の減給10分の1を1ヶ月という処分より低いのも納得できない。当初の契約をした際、現課長は担当ではなかったが、市長は、市長就任以来、ずっと観

光協会の会長をしていたわけである。

市長の3月分の給料について、100分の5を減額するという処分の根拠は何なのか。

答弁：市長

確かに、おっしゃる通りの見方もあると思います。

そのような見方を否定するものはありませんが、私の考え方については、先の質問の際に、既に述べている通りでありまして(4ページ)「坂出市観光協会問題への対応について」を参照)、今議会に議案として提出しておりますので、よろしくご審議賜りたいと思います。

第3病棟の取り壊し費用を合わせると、6億円程度の費用が見込まれます。

第3病棟の新築の時期については、今後、市立病院のあり方について検討し、基本設計及び実施設計を行い、仮設病棟を建設し、それから新築工事に取り掛かることになるものと考えます。

したがって、第3病棟の新築工事の時期については、見

通しが立っていないのが現状であり、今後、具体的な耐震計画を策定した際に、報告したいと考えています。

また、本館の耐震補強工事については、平成19年度に行った耐震補強実施設計により、給排水管設備や電気設備等の改修を含まない、耐震補強工事費のみで5億円弱の費用が見込まれます。

本館の工事内容及び工事に

新多目的交通システムについて(デマンドタクシーの導入)

質問 デマンド(要望)タクシーとは、高齢者や交通弱者が、利用する前に電話で事前予約し、自宅や指定場所から希望する目的地への送迎を行う、乗合いタクシー方式のことである。

茨城県では、導入コストが巡回バスの3分の1程度で、利用料金もバス並みであるとして、多くの自治体で運行されており、また、今後の導入に向けて、試運転を行っている自治体もある。

本市においても、新たな交通機関としてデマンドタクシーの導入を検討し、高齢者や交通弱者の利便性の向上を図

るべきと考えるが、市はどう考えるか。

答弁：環境経済部長

一般にデマンドタクシーとは、会員登録により低額で利用できる乗り合いタクシーで、全国的にもいくつかの運行例があるようです。

本市における導入については、本市では現在、路線バス、市営バス等を運行しています。デマンドタクシーについては、将来的には有効な交通手段であると思えますので、今後、先進地の事例等も含め調査、研究していきたいと思えます。

視察来庁記録

伴う各病棟の病床数についても、第3病棟の新築工事時期と同様に、今後、市立病院としての方向性や機能のあり方について調査・研究し、耐震計画を策定した際に、報告したいと考えています。

なお、第3病棟を建設する場所については、現在の病棟の場所を考えています。

1月

27日 宮城県石巻市

(包括外部監査・市民広場整備事業について)

28日 北海道江別市

(行財政改革・駅周辺整備事業について)

2月

2日 神奈川県秦野市

(市民広場整備事業について)

4日 東京都福生市

(市立病院の運営について)